

四天王寺大学で身につく 「教える力」と「現場力」

本学教員と教員採用試験を現役合格した学生との本音トーク。
実社会で活躍するための4年間の学びについて、さまざまな立場からお話しして頂きました。

Q 教員をめざすきっかけを教えてください。

佐藤さん
私は、以前から教員になりたいと漠然と思っていました。強く意識したのは、2年生のインターンシップに参加したことがきっかけです。実際の教育現場で、さまざまな子どもたちと関わったことで、子どもたちの支えになり居場所を作ってあげられるような教員になりたいと思いました。

山本さん
教員になりたいという想いが大きくなったのは、高校時代の塾の先生です。社会科の特に日本史が嫌いだった自分に対して、その先生は本当に楽しく授業をしてくれました。そのきっかけで社会科の面白さを知り、たくさんの子どものうちにも面白さを感じて欲しいという想いが芽生えたので教員をめざそうと決めました。

福永さん
中学校時代の部活動の顧問による指導がきっかけです。厳しい指導でしたが、今の自分があるのは、その時、先生に出会えたからだと思います。自分もそんな先生になりたいと思いました。

Q 授業や講座の中で、特に became と思ったのは？

塩田さん
コース別の特別支援教育に関する授業は、私にとってとても為になる授業でした。自分の経験してきた教育しか知らなかったので、授業を通して、障がいについてや支援の方法、支援学校の様子を学ぶことができました。自分自身の考え方が柔軟になり視野も広がったと感じています。

大田さん
教員採用試験対策の授業で、筆記試験、面接、模擬授業の対策は全ての試験内容に対応しており、とても自分の為になりました。特に面接や模擬授業は実践的な指導があるので、試験当日を想像しながら行うことができました。また、めざす自治体に応じて、柔軟に講義内容を変更してくださるところも魅力的でした。

山本さん
長期休みの期間に開催される、教職教育推進センター主催の集中講座です。3年生の夏休みや4年生前の春休みに受講しましたが、教職教養の全体像をしっかりと理解できました。また、生徒指導論の授業では、生徒指導というものが、生徒に関する事柄全てに関連している事が分かりました。教員になってどのような事を大切に判断するべきか、明確に考えることが出来ました。



木村先生
本学には、長期にわたって現場経験ができる教員養成システムがあります。机上では学べない子どもへの対応、授業の進め方、支援の必要な子どもへの関わり方など現場の学校だからこそ、学べる場所が強みです。現場の先生方と出会い、コミュニケーションをとることで自分の理想の教師像を模索していけると思います。また、子どもの対応等で戸惑った時などすぐに現場の先生に質問し、学ぶことができます。これらの経験により、教員採用試験の面接で子ども対応のことを質問されても不安なく答えることができます。

西岡先生
子どもたちとの触れ合いや現場の教員とのコミュニケーションを学ぶことができるインターンシップは、教員をめざす学生にとっては、教育実習に向けてすべきことを改めて考えられる機会です。教職教育推進センターでは、実践的なさまざまなプログラムを用意しています。教員採用試験合格をめざす人はぜひ参加して欲しいです。



教職教育推進センター
センター長
木村 雅則 教授



教職教育推進センター
副センター長
西岡 智 准教授

お話しをお聞きした現役合格生



岡山市小学校教諭 合格
教育学部 教育学科
小学校教育コース ※1
大田 芽生 さん
明誠学院高等学校 出身

周りの人が安心でき、心の支えになれるような教員をめざしています。子どもたち一人ひとりに寄り添い、安心して過ごせる教室が作れる教員になれるように頑張ります。



大阪府支援学校教諭(小学部) 合格
教育学部 教育学科
小学校教育コース ※1
塩田 朱理 さん
大阪府立高石高等学校 出身

子どもたちのできることを増やして、より豊かに生きるための力を身につけてあげたいです。そのために、妥協せず努力し続けられるような先生になりたいです。



大阪府小学校教諭 合格
教育学部 教育学科
小学校教育コース ※1
山本 頼誠 さん
大阪府立山本高等学校 出身

子どもたちの人生に関わるので、それぞれの記憶に残るような教師でありたいと思います。「先生がいたから・・・」「先生のおかげで・・・」と言われるような、子どもに信頼される教員になりたいです。



大阪市中学校教諭(社会) 合格
人文社会学部 社会学科 ※2
福永 一輝 さん
大阪府立大塚高等学校 出身

時には「厳しい先生」と思われても卒業後に「あの先生の指導があったから」と思ってもらえる教員をめざしています。そのためには、子どもたち一人ひとりの事をしっかり考えて行動したいと思っています。



大阪府養護教諭 合格
教育学部 教育学科
保健教育コース ※1
佐藤 花彩乃 さん
大阪府立佐野高等学校 出身

自信を持って「仕事が大好き」と言えるようになりたいです。子どもたちが保健室に来室した時には、子どもたちに寄り添う、ほっと一息つけるような雰囲気のある保健室にしたいです。

※1 2024年4月「学校教育コース」コース再編予定
※2 2024年4月「社会学部 社会学科(仮称)」構想中

経験豊かな教員が一人ひとりの夢の実現に向けサポートします。

教職教育推進センターでは、教員採用試験合格に向け、講座、面接指導、模擬試験、実技指導など数々の取り組みを行っています。また、2年間という学校現場での継続した学びを通じて実践的指導の基礎力養成に向けた取り組みを行っています。それに加え学生は、めざす自治体ごとに編成した自主勉強グループを作り、主体的な学びの中で支え合いとともに切磋琢磨し、自らの力を出し合い、質の高いグループとしていくことで「いい先生になる」という意欲を高め、人として成長していきます。その学生の頑張りにより教職教育推進センターの経験豊かな教員が、学生一人ひとりの夢の実現に向け、全力を挙げてサポートしていきます。



Teacher Message

子ども一人ひとりに寄り添う「いい先生」を育てたい。

自分の目の前にいる子どもに「何をしてあげられるだろうか?」、この子どもの成長のために「自分のできることは何だろうか?」と常に子ども第一に考え、子どもの力を最大限に引き出してやれる「いい先生」をめざしてほしいです。そのためにも、子ども一人ひとりの人格形成に自分が携わるのだという強い気持ちが必要です。教員採用試験突破のために教職教育推進センターを精一杯活用してほしいです。インターンシップ、教育実習、そして教員採用試験で不安に思うこと、聞いてみたいことなど、センターの先生に遠慮なく相談してください。積極的な姿勢が自らをより前向きにしますし、面接練習、模擬授業等で先生とコミュニケーションをとることが採用試験への自信につながります。一緒に「いい先生」への道を歩みましょう！

